

ふるさと上越ネットワーク会報

NO. **21** 2006.7



巻頭言

「ネット理事」
上越商工会議所会頭

田中弘邦

美しい自然に恵まれた上越のよさを再発見し、地域に根差した教育に力点を置けば、自ずと明日の上越を背負ってくれる人材の育成につながるはずである。人と人のネットワークづくりが、全ての原点であり、商工会議所の使命である。その為に、私も微力ながら、もうひと頑張りしなければ、と思いを新たに、今日この頃である。

「明日の上越を担う人材育成を」

夜、家に帰って一風呂浴びると、私は床に着く前に一服しながら今日の出来事を振り返り、明日の上越に思いを馳せる。

近頃、新聞やTVの画面では、合言葉のように景気回復の文字が躍るが、地方ではまだまだ、その実感がない。建設業をはじめ、商業、サービス業なども依然として停滞感が強い。一部製造業で明るさがみえてきたものの、原油高や鉄鋼材料の高騰が水を差す。しかし、一時の底からは抜け出てきていることも確かである。

新幹線工事、火力発電所建設計画等、一連のインフラ整備が進み、それによる波及効果を期待する向きも多い。当然のことである。しかし、地元が本当の意味で潤う為には、多くの課題がある。

在来線問題、大型事業の地元受注促進等々、如何に進めていくか……。

市長が提言する“地元ブランド”の育成、大型店と商店街といった対立構図から一歩踏み込んだ、市民と共に考える地方都市としての街づくりのあり方……。

日々、目まぐるしく変わっていく世の中の流れの中で、如何に乗り遅れずに、リーダーシップをとっていくか、時に重責に押し潰されそうになる私だが、人の意見にも謙虚に耳を傾け、この苦難の時代に捨て石となるべく覚悟に身を引き締める思いである。

昨今、一般社会はおろか経済界に至るまで、あまりにも理不尽な理解に苦しむ事件が跡を絶たない。戦後の高度成長、バブルの崩壊の中で失われた心を取り戻し、精神的に豊かな時代を築かなければならない。



平成十八年度 総会報告

六月四日(日)、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段)で八〇名を超える参加を得て平成十八年度「ふるさと上越ネットワーク」総会が開催されました。

小坂恵美さん司会のもと、和久井会長、木浦上越市長(中川助役の代読)の挨拶を頂きました。次ページに全文を紹介しております。



司会の小坂恵美運営委員

規定により会長が議長を勤め、平成十七年度の事業報告と決算報告、平成十八年度の事業計画と予算、役員の改正の五議案が審議され、いずれも承認されました。

質疑に続いて、野澤企画・地域振興部長より合併後の上越市の現状説明を頂きました。



事業報告する高橋課長



決算報告する福田監事



総会全景

会長挨拶

Jネット会長

和久井博（幸町出身）

みなさんこんにちは。本日は、多忙の中を、平成十八年度ふるさと上越ネットワーク総会にお集まりいただきありがとうございます。開会に際し、一言ご挨拶をさせていただきます。

ふるさと上越ネットワークは、平成九年に設立しまして、ちょうど今年で十年目になります。この十年間会員の皆様のご協力の下に、色々な事業や企画をやつてまいりました。「ふるさと交流会」でお花見に行つたり、あるいは「文化講演会」で、先日は、金井清一プロのお話を聞いた。「越後ふるさと大使」のほうも、かなりの方に名刺を持っていたいて、あちこちでPRしていただいています。

去年から新たに「ふるさと市場」ということで、地元の良質な物産を出来るだけ世の中に広めようと新たな事業も始めております。

それ以外にも、上越市に対してJネットからいろいろな協力をしております。例えば、都会で培つたノウハウを上越の市政に生かそうということで、今年度からは行革担当では松川副会長が、直江津港の振興では、長年日通におられたロジスティックスのベテランの井手理事が、新たにコーディネーターとして入っています。それから上越市食糧・農業・農村基本計画策定委員会というのがあるんですが、従前は松川副会長と理事の澤さんが参画されていました。昨年からは澤さんに代わりまして小野塚さんから参加いただいております。それと私も委員のほうに昨年から入っています。もちろん行革は大事なことで、すし、松川さんが民間の会社で培つたノウハウを、是非上越にうまく導入してもらえればいいかなと思います。

それから直江津港についてですが、ここに

る皆様に日本の最重要貿易国はどこですかと聞いたら、多分今の高校生でもそう答えると思うんですが、アメリカとかEUとか返ってくると思うんです。それが驚くことに去年の十月、日本の最大の貿易相手は中国になりましたよね。アメリカも中国が最大です。ですから津軽海峡から日本海に向つてアメリカの貨物船が列をなしているという話を聞きます。そこで、直江津港にとつて千載一遇のチャンスが来るのではないのかと思うわけです。そういう背景とロジのベテランである井手さんがいろいろアドバイスしてくれるということで直江津港は、すごく期待できるのではないかと思います。

農業のほうも委員会に参加して三年目になります。WTOが米の関税を下げると言つてきておりますから上越の農業も非常に大変大きな課題を抱えているわけです。我々都会の生活者としての意見をいろいろ言わせていただいておりますが、今年は農業の具体的なアクションプランの中で私が今言われているのは、上越米を中心とした上越の食糧のブランドを作れと、ブランドを作るプロジェクトに参画してくれといわれています。これは私一人考えてもどうしようもないので、是非J



ネットの皆様のご知恵とかアイデアをまとめて何とか上越のブランドを育成したいなと思っております。

ブランドにつきましては、この前、上越市長と新潟県知事がパネルディスカッションで聞いた面白い話がありまして、中越地震の時、山古志村というのは、非常に孤立しまして日本国中の新聞やマスコミに出て全国ブランドになりました。ただどあれより被害があったんじゃないかと思われる小千谷の東山地域は、多分全国で誰も知らないんじゃないかと思えます。

「平成十八年豪雪」では、上越市はじめ皆さん大変ご苦労なされたわけですけれど、秋山郷に繋がる津南町は全国紙にたびたび報道されました。だから津南はブランドになったわけですね。ですけど津南より多分雪が多かった関山とか、関山の先の赤川なんてのはどこにも出てないわけなんですよね。だからブランドになるには、日本一にならないといけない。あるいは世界一にならないとブランドにならない。これは大変なことなんだという風に思っています。是非皆さんと一緒に日本一の上越の何とかっていうのを見つけ出すのか、作り出すのか、何かそういうことをやっていかなくてはいけないのかなと思っております。

本日は、一年に一回の総会・懇親会であります。上越の方から沢山食べ物やお酒が届いてい

ると思いますので、是非今日はゆっくり皆さん楽しんでいただければと思っております。

最後になりますが、ここにお集まりの皆さまのますますのご発展とご健勝を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございます。



来賓祝辞

上越市助役

中川周一

がら、改めて頑張つてまいる所存でございます。

さて、今年の冬、当市は豪雪に見舞われ、皆様方にも大変ご心配をおかけいたしました。一月には災害救助法が適用されたほか、高田地区では二十年ぶりの一斉屋根雪下ろしが実施されるなど、市民も大変苦勞した冬でした。四月に始まった高田公園観桜会もこの雪の影響が心配されましたが、ふるさと交流会で皆様をお迎えした際には、皆様を歓迎するかのよう訪問前日に桜が開花いたしました。当日はあいにくの天候でございましたが、懐かしい方々と楽しいひと時をお過ごしいただけたのではないかと存じております。

(以下、市長メッセージ。中川助役代読)

上越市助役の中川でございます。本来ならばＪネット顧問でございます木浦上越市長が何う予定でございましたが、本日はあいにく朝からいくつかの行事がございまして、どうしても調整がつかず、代理で出席させていただきます。よろしく願ひ申し上げます。

Ｊネットの皆様には、日頃からふるさと上越を温かく見守っていただき、また、ふるさと上越の発展・充実に對し、格別のご指導とご協力を賜っておりますことに、衷心より厚く御礼申し上げます。

おかげさまで合併いたしました。自立に向けて一年五か月が経過いたしました。自立に向けたまちづくりに職員一丸となつて取り組んでいるところでございます。

本日は、市長から合併後の今の現況等について皆さんにお話をさせていただく絶好の機会でございますが、出席することが叶いませんので、市長から皆さん方へメッセージを託されて

本日は、平成十八年度ふるさと上越ネットワークの総会のご盛会、誠におめでとうでございます。また、Ｊネットが平成九年七月に設立されて以来、今年で十年目の節目を迎えられますことに重ねてお祝いを申し上げます。

皆様には、会の目的のとおり、さまざまな事業を通してふるさととの交流を深めていただいておりますほか、各種委員会の委員として上越市のまちづくりにご支援いただいておりますが、今年度から副会長の松川様からは行革推進専門員を、そして理事の井手様からは直江津港振興推進員をそれぞれお引き受けをいただくなど、市政運営にＪネットの皆様のお力をお借りしな

上越市では今、北陸新幹線や上越・魚沼地域振興快速道路、直江津港などの基幹的なインフラ整備そして上越火力発電所建設等の大型プロジェクトを確実に推進するための取組を進めており、また、明年四月に予定している特例市への移行を実現し、名実ともに北信越地方の中心都市としての役割を担うための努力を続け、皆様のご期待に応えるよう自立したまちづくりを更に促進してまいります。

また、来年は京の都から配流された親鸞聖人が直江



津五智の居多ヶ浜に上陸し、この地で布教活動を始めて八百年という記念すべき年にあたります。

こうした機会をとらえて、ふるさと上越を広くアピールするためのシティセールスを力強く推進し、上越市の価値や知名度を高め、交流人口の拡大を図りながら上越ブランドを構築していく所存であります。

皆様にはこれからも変わることなく、ふるさと上越に格別のお力添え賜りますようお願いを申し上げます。私も皆様が誇れるふるさと上越のまちづくりに更に精進してまいります。

最後にふるさと上越の応援団である、ふるさと上越ネットワークの会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成十八年六月四日 上越市長 木浦正幸

代読でございました。本日の総会まことにありがとうございました。ありがとうございます。



上越市の現況報告

上越市企画・地域振興部長

野澤 朗

企画・地域振興部長の野澤でございます。よろしくお願いいたします。この機会に、高田と直江津を中心に、上越市の現在の取組につきまして簡単に話させていただきます。

高田地区におきましては、町屋を中心としたまちづくりが少しずつ定着してまいりました。今井染物屋、金津桶屋、小妻屋という町屋がございますが、これらがお客さまを招き入れることに繋がっております。小妻屋につきましては、そのままの姿を出来るだけ活かした形で新しい公共施設にしていこうと、高田に今まで無かった街中の集会場として設計しております。来年には着工いたしますが、町屋、いわゆる普通のお宅を活かした公共施設として話題になるのではと思っております。高田にお越しの際に、お立ち寄りいただける場所が一つ増えるのではないかと考えております。

このようなことも含め、十三区の個性豊かな特性を活かす仕掛けの一つとして、フィルム・コミッションという映画等を誘致する組織も出来ました。このほど、その第一号の映画が撮影され、松川副会長も医師の役で出演されています。上映の際は、是非ご覧いただきたいと思えます。フィルム・コミッションへは、現在もかなりの数のご要望をいただいておりますので、そのうちにいろいろな映画に、我が上越の場面が使われるのではないかと期待しております。皆さんも是非楽しみにいただきたいと思います。

直江津地区につきましては、二十五年間で三十九パーセントという人口減少率となっております。その割合は大島区、牧区とほぼ同じであります。高齢化率も二十八パーセントと、はつきり申し上げて過疎地帯でございます。これまでは中心

市街地の活性化となりますと、商店をどうするかといった話でありましたが、そのような状況ではなくなりました。このことにつきましては、やはりより多くの人から住んでいただくための仕掛けが、非常に重要となっております。

新幹線が開通いたしますと、直江津の駅性格も変わってまいります。我々といたしましても、第三セクターの鉄道を維持していかなければならないこともございまして、このほど直江津の駅前開発に本格的に乗り出す計画づくりを終えたところであります。直江津図書館と社会教育館が、水族館の近く、直江津中学校の近くにあったのをご記憶の方もおられると思います。これを出来れば駅前に公共施設として移転、新築したいと調整に入っております。私どもといたしましては、八年後の新幹線開通時までに直江津の街の方向性を明確にし、新幹線開通後に対応できるような街にしていきたいと思っております。

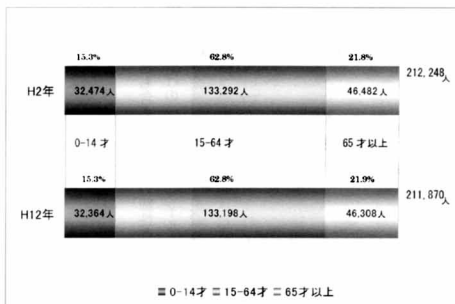


ります。

それから最後でございますが、この度上越市民歌を全面的に見直すことになり、現在歌詞を募集しております。現在の市民歌は、高田は、直江津はといった地名にまつわる歌詞となっておりまして、同じように十三区の地名を入れると非常に長くなるということから、今回の募集ルールでは、今の歌のように特定の地名を歌い込まずに、もう少し全体的な上越、ふるさを想う歌にしようということになりました。補作詞者として杉みき子先生をお願いしてございますが、作詞者としてお名前が永遠に残ることでありますので、是非皆様からも応募いただければと、本日PRさせていただきました。

まだ確定値ではございませんが、昨年の国勢調査で上越市の人口は二〇八、〇〇〇人となりました。平成十二年からの減少数はそれでも三八〇〇人に止まっております。皆様方のかけがえのないふるさと・上越が今後も引き続き発展しますよう、市長を先頭に職員一同努力してまいりますので、今後も皆様からのご支援よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、現在の上越市の状況をお話しさせていただきました。



上越市の年齢別人口の推移

	人口（人）	世帯数（世帯）	平均世帯人数
昭和 55 年	216,320	57,390	3.77
昭和 60 年	216,348	58,703	3.69
平成 2 年	212,248	59,662	3.56
平成 7 年	212,060	63,402	3.34
平成 12 年	211,870	67,654	3.13
平成 17 年	208,083	69,108	3.01

(速報値)

人口と世帯数の推移

平成18年度 ふるさと上越ネットワーク予算

■収入

単位：円

科目	17年度決算額	18年度予算額	差引増減	内 訳
会費	2,342,500	2,764,200	421,700	・個人会員 @3,000×637 @2,900×208 ・賛助会員 @50,000×5
負担金	1,139,000	1,085,000	△ 54,000	・総会参加者 @5,000×70 ・文化講演会参加者 @5,000×70 ・ふるさと交流会参加者 @10,000×18×2 ・ふるさと越後大使 25,000
交付金	4,000,000	4,000,000	0	・市交付金
通信販売精算金	143	0	△ 143	
繰越金	1,404,226	1,121,023	△ 283,203	
雑入	147,134	50,134	△ 97,000	・預金利子 134 ・ふるさとカレンダー 50,000
合計	9,033,003	9,020,357	△ 12,646	

複数年納入者128人(延べ236人)	納入金684,400円(H18.4.1現在)	収入に見込まず別会計として管理
--------------------	------------------------	-----------------

■支出

単位：円

科 目	17年度決算額	18年度予算額	差引増減	内 訳	
広報事業		3,985,407	4,420,000	434,593	
	会員募集事業	164,878	189,000	24,122	・会員募集チラシ 58,000 ・通信運搬費 12,000 ・会員証 63,000 ・振込用紙印刷等 56,000
	広報事業	3,820,529	4,231,000	410,471	・市広報購入費 653,000 ・会報作成（年2回） 770,000 ・ふるさとカレンダー印刷 787,000 ・配送料 1,593,000 ・レターヘッド、封筒印刷 298,000 ・編集委員賃金、消耗品費ほか 130,000
	交流事業	1,010,953	1,150,000	139,047	・ふるさと交流会 584,000 ・地方サロン開催補助等 466,000 ・勉強会 100,000
ふるさと支援事業	936,868	1,168,000	231,132	・講演会事業 775,000 ・ふるさと大使事業 57,000 ・通信販売精算金ほか 336,000	
総会開催事業	868,790	944,000	75,210	・理事会 35,000 ・総会 191,000 ・懇親会 718,000	
事務費	1,109,962	1,338,357	228,395	・運営委員会事務局費 960,000 ・運営委員交通費助成 144,000 ・手数料、消耗品費ほか 234,357	
繰越額	1,121,023	0	△ 1,121,023		
合計	9,033,003	9,020,357	△ 12,646		

議事と事業内容

◆議事（五議案が承認されました）

- 第一号議案 平成十七年度事業報告
- 第二号議案 平成十七年度決算報告
- 第三号議案 平成十八年度事業計画
- 第四号議案 平成十八年度予算
- 第五号議案 役員の変更と運営委員の委嘱

理事

小林春芳（服部 武）

（えち）下越農業協同組合代表理事専任

上野 猛（吉田雅治）

（上越青年会議所理事長）

運営委員 新任

中村真和、岡村貴、小坂恵美

◆平成十八年度事業計画

- 一 会員募集事業（目標数八五〇人）
- （一）新規会員の募集

- ・各區郷人会等への積極的働きかけ（Ｊネット開催事業への参加案内）
- ・役員、運営委員による定期的勧誘活動
- ・高校同窓会等での勧誘活動（総会時等にチラシを配布）
- ・ネット下り、Ｊネット会報による募集

- （二）平成十七年度会員の継続加入の推進
- （三）複数年会費前払い制度による勧誘

- ・会費割引制度（二年以上の会費を一括納入する場合、二年目以降の会費が一年当たり百円割引）

- 二 広報事業（上越市の紹介）

- （一）ふるさとからの便りを会員宛に毎月一回送付

- ・「広報じょうろ」（一日号、十五日号）
- ・上越市やＪネットの情報を提供する「たより」の発行

- ・会員の近況を紹介する「お元気ですか」の発行

- ・イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせを送付

- （二）Ｊネット会報の発行：年一回発行

- （三）「ふるさとカレンダー」（二〇〇七年版）の発行：十一月

- （四）ホームページの充実とリンクの拡大

- ・各同窓会、郷人会のＪネットワーク化を図る。

- ・個人でリンクを貼る会員を募集する。

三 交流事業

- （一）第十回ふるさと交流会の開催

- ①期日 四月十三日、十四日
- ②会場 高田公園（花見）、山荘京ヶ岳（宿泊）、岩の原葡萄園、菅原神社など（視察）

- ③参加費 一万円（花見のみの参加は三千円）

- ※ 秋に、上越市で交流会の開催を予定

- （二）Ｊネットサロンの開催

- ①東京地区

- ・開催日 毎月第一水曜日（運営委員会終了後に開催）

- ・会場 運営委員会事務局（株式会社）

- 社会シニア研究所内）

- ・参加費 千円（参加者負担）

- ②名古屋サロン

- ・開催日 九月に開催予定

- ・会場 名古屋リオットアジアホテル（予定）

- ・参加費 一人あたり千円をＪネットが助成

- ③大阪サロン

- ・開催日 十二月に開催を予定

- ・会場 大阪弥生会館（予定）

- ・参加費 一人あたり千円をＪネットが助成

- （三）勉強会

- ①前島密翁のお墓詣りと海洋研究開発機構見学会神奈川県横須賀市

- ・開催日 五月二十日（土）

- ・内容 上越市出身でわが国の郵便制度の父 前島密翁の墓がある浄菜寺の参詣と、直江津港沖三十キロメートルでメタバイドロレド（燃える氷）固形状メタン）を採取した海洋調査船「かいよう」ほか独立行政法人海洋研究機構の見学。

- ②その他

- 年三〜四回、上越市にゆかりのある施設を見学し、市出身者等の功績等を学ぶ。

四 総会等開催事業

(一) 総会

①開催日 平成十八年六月四日(日)

②会場 アルカデイズ市ヶ谷

③内容 平成十七年度事業・決算報告、平成十八年度事業計画・予算等の協議、アトラクション、懇親会

(二) 理事会の開催

①開催日、会場及び内容

◇第一回 平成十八年六月四日) アルカデイズ市ヶ谷

平成十八年度総会議案審議

他

◇第二回 平成十九年一月に開催予定
平成十八年度事業中間報告、十九年度事業計画案ほか

(三) 運営委員会の開催：毎月

①開催日 原則毎月第二水曜日

②会場 運営委員会事務局(株式会社社会システム研究所内)

③出席者 運営委員(十四人)

④内容 個別事業計画の内容検討や事業執行の協力ほか

五 ふるさとのもちづくり支援

(一) ふるさと市場事業(お米を中心とした通信販売)

(二) 上越市への協力等

(三) 専門員として協力

②各種委員会の委員として協力

職名	職員名
行革推進専門員	松川太賀雄 副会長
直江津後援会推進員	井手高吉 理事

委員会名	委員名
上越市食料・農業・農村政策審議会	和久井博 会長
松川太賀雄 副会長	
小野塚い子 運営委員	
みんなで作る自治基本条例市民会議	松川太賀雄 副会長

(三) 文化講演会(第二回理事会開催時)

(四) ふるさと越後大使事業(ふるさとPR用の名刺作成と配布)

(五) 棚田オーナー事業のPR(個人参加)



アトラクション・懇親会

総会後のアトラクションは、上越市大
豆出身のマジシャン・カズ（石田一裕）さ
んの多種にわたる手品と高田地区出身の
田嶋里香さんの歌を楽しみました。

カズさんは上越地方を中心に幼稚園、
小中学校を始め、学園祭芸術鑑賞会、教
育事業、老人ホームなどで活躍しておら
れる若手のマジシャンです。将来は世界
を股にかけるマジシャンへの成長を期待
されています。

田嶋さんはポップス得意とし、十二
年前「この雨通り過ぎるまで」で東芝E M
Iからデビュー。CM出演、ドラマ、映
画などへの活躍が一層期待される上越の
ホープです。

続く懇親会では、大阪堺市より参加の
副会長尾崎宗秀さん、神原家当主神原政
信さんから挨拶を頂き、理事の下山敏

郎さんの乾杯発声で宴会のスタートです。

上越からの馳走とお酒で賑わいが増し
てきました。利き酒コンテストと抽選会
などで更に盛り上がりした。

- ・利き酒の景品 安塚のお米「ぎんしゃ
り」二キロ入れ（十人）
- ・抽選会の景品（各一人）
・コシヒカリ味噌一キロ袋入
（山本味噌醸造場）
- ・くろようかん第一義一本
（大杉屋惣兵衛）
- ・栗飴二個入
（十四代 高橋孫左衛門商店）
- ・岩の原オリジナルケーキ一本
（関のや製菓）
- ・継続たんこ八本入
（三野屋菓子店）

再びカズさんのテーブル手品を特別に
披露していただきました。三六〇度好き

な所からどんなに真剣に見てもタネは見
つかりません。たゆまぬ訓練による至芸
というべきでしょう。

締めは恒例の我らが誇りの歌「春日山
音頭」と「エイ、エイ、オー」を松川副会
長の音頭で高らかに唱え、来年の再会と
健康を祈念してお別れです。





カズさんの手品



みなさん真剣に見てますが...



田嶋さんの独唱



尾崎宗秀副会長の挨拶



司会の勝島副会長



榎原政信さんの挨拶



山下理事による乾杯でスタート



当選しました



商品授与



東京新潟清里会の方々





カズさんのテーブル手品



当たるかな



「当たった」



「たね教えて」「ダメ」



当選しました



「エイ・エイ・オー」



楽しかったね 再会を期して

「わたしのゴルフ人生」

プロゴルファー 金井清一氏

平成十七年度のＪネット文化講演会は、平成十八年一月二十九日に市ヶ谷私学会館で、郷土牧区出身のプロゴルファー金井清一さんにご講演をいただきました。

雪深い山郷からの旅立ち、プロになるまでの苦勞、ゴルフの初級者から上級者まで通じる講義を、まだ残っている越後訛を交えての金井節で、八〇人を超えるゴルフファンを楽しませてくれました。

続いて行われた懇親会でも手取り足取り５打数を減らす為の講義をしていただき感謝です。

概要をかいつまんで紹介いたします。

生まれは牧村の吉坪だよ。今は、お医者さんでもない過疎。

今年は何回も雪降ろしたと兄貴から連

絡があった。一日三回除雪車で道路の雪をかいてもらった。昭和二十年の大雪は、覚えている。そんなところに住んでいて、何でゴルフのプロになっちゃったか。子供の頃にトランジスタラジオを作っていた技術屋が。

東京神田の広瀬無線に入社し、すぐに技術研究所にまわされた。屋上に練習場があり、インストラクターが我孫子カントリの池田五郎さん。

試しにやってみたが、ものの見事に空振り。池田五郎さんのお兄さんが、東京都民ゴルフ場のキャデマスタをしてもらった。休みになると、都民ゴルフ場でゴルフを覚えた。スライスでクラブハウスのガラスを割り、しばらく出入り禁止。

小池さんは月に四万円もらい、俺は九千円ちょっと。電気でしびれているよりいいぞ。広瀬無線は二十歳で辞めた。

小池さんのお兄さんのアパートにテレ

ビ一台持って住みついたのである。小池さんの縁で青木功を知る。青木はまだプロじゃない。鷹巣さんはプロの成りたて。「金井ヨ、お前のバンカーどうしようもないなあ。」佐藤精一さんと林由郎さんがお師匠さん。

青木のバンカーショットは、魔法がかつて止まる。「どうやって打つの。」こうやって打つんだ。感覚的に覚えるんだ。そして、「青ちゃんさあ、本に五センチ手前で打てと書いてあるから、五センチ手前で打っているんだけど。」お前のは、五センチよりもつと手前で打っているよ。だから、だめなんだ。「青木ちゃん、何処をみて打っているの。」「俺、なにも見てねえよ。」

二十四歳でプロテストに合格するも、試合が少なく出番がなかった。友人が「金井、家造ったか。」というから「俺、四万円だよ。」寂しい。毎朝都民ゴルフ場でラニングして、セルフカートでハーフまわった。鷹巣さんに「お前な、もうじき三十だろう。結婚もしないで。」とゴルフを諦めさせようとした。しかし一九六九年に関東オープンで三位入賞の実績でジャンボと一緒に鷹巣さんに連れられて、アジアサーキットに行った。好成績でカンバ百万円を使わなくて済んだ。鷹巣さんに、「お前自信ついたらう。」と言われ「はい、つきました」「じゃあ、もつとやつてみる。」と。

ふるさと上越ネットワーク文化講演



府中カントリでのＪＡＬオープンでは、最終組でデビットグラハムと組む。四位に入賞。スリーボンドの社長の目に留まり、「俺の会社に来て、トーナメントプロやってみないか」と言われて、いきなり経費込みで二千万くらいもらうことになる。こんなにお金もらって俺は何をすればいいんですか。といったら、会社のお客さんとまわってくれたり、とにかく優勝するようにがんばれつてくれ。翌年優勝できた。無欲の勝利。ジャンボとの最終日に、貧乏時代にお世話になった人から、勝った、負けたは

どうでもいいから、と激励があった。

相変わらず、ジャンボが八番とか九番アイアンで打つところを俺は四番ウッドとか三アイアンで打ち、寄せワンで切り抜けた。ジャンボの自滅で逆転して栄冠を勝ち得た。

東海大学の田中教授に「筋肉を強化したいのです。今更電気屋に戻っても真空管の時代は終わりましたので、何とかしてください。」と無理やりをお願いした。1年を通じて三十試合に出た。日曜日の夜帰ってきて月曜日東海大学に行き、火曜日は次のトーナメント会場に行き練習ラウンドをして、水曜日はプロ・アマ戦。木曜日、金曜日予選。決勝に残っても、下位なら赤字。プロゴルフファイトそんないい商売ではない。

まだまだ話したいことがいっぱいあるけれど、上越の人にまたお目にかかるとして何か質問を。

質問 牧村の過疎からお出でになったわけですが、プロ生活なさっていて牧村をどのくらい思い出し、牧村で生まれてよかったなあと思えますか。

プロ 僕は自分で言っちゃあ何ですが、この体ですから粘るしかないんですよ。食らいついたらスッポンじゃないですけど離さないぞと。

だからもの凄く嫌がられました。優勝争いしたときには。レギュラーで十七回、シニアでも十七回勝ってます。その殆どが粘りで勝っています。

思い出すに、やはり皆さん上越市でも平らなところに住んでいらっしやるのでしょけど、僕のところは、田んぼが牛も入れられないような狭いところで段々になつていて、刈入れの時は稲を背負って、わらじ履いて泥の中を草にしがみつきながら踏ん張る。田中教授にもいわれました。この足の先の感覚は小さい頃に養ったものでないとダメなんですってね。ですから、僕は本当になんかどうして生れ育ったお陰で負けじ魂ができたと思います。

質問 私(女性)、花粉症でバター打つとき非常に大変なんです。

プロ わたしも鼻炎です。温度変化とほこりが大敵。きれいな女性を見るとクシャミ。

質問 レッスンブックを読んでいるんですが、効果がありません。

プロ 英訳は読まないほうがいいよ。読むなら英文のまま読んだほうがいい。辞書を引きながら、偶に誤訳があるから。俺の本を読みなさい。

質問 五十九歳でシニアプロになられた古市さんをどのように評価されていますか。

NHKの朝の四時から「心の時代」で話しを聞き、すごい人だと思いました。

プロ どなたでもシニアに入れる制度を作ったのは、わたしです。神戸の震災で焼け残ったゴルフバックでがんばってプロテストに合格。努力は凄いものがあります。タイガーとも一緒にまわっておられます。ただ、息子さんがどうやってもプロテストに受からないのが残念です。評価して僕はそんな偉い人間じゃないですから、あの人が敬服するのみです。世のため、人のためにも尽しておられる。常に感謝の気持ちを持っていらつしやる。自分一人じゃ出来ない。皆さんのおかげだというすばらしい気持ちを持っていらつしやる。





井手理事の乾杯



和久井会長の挨拶



金井さんを囲んで





レッスン



「疲れたね」



当たった



「春日山頭松風吹く風に…」



「金井さん、ありがとう」



春のふるさと交流会に参加して

横浜市

中島幸雄（寺町二丁目出身）

二年振りに、ふるさと交流会に参加しました。四月十三日の明け方、横浜は小雨が降っていました。十時四十分東京発「あさま五十七号」で東京を発ち、長野經由十四時十分高田に到着しました。今年は雪が多かった為、黒姫から二本木付近未だ残雪があり、この区間はガスが一面たちこめ見通しが五〇メートル位の所があり、桜も殆んど蕾の状態でした。高田は曇天でしたが、時々小雨が降る天候の為ふるさと交流会の会場は高田公園内の厚生南会館に変更になりました。会場に荷物を置き高田公園内を散策してみると、桜は二分咲き程度でした。

十七時三〇分送迎バスで今夜の宿泊地清里区坊ヶ池「面積十二ヘクタール、水深三十三メートル（最深、満水量二、三〇万トン）」湖畔にある山荘京ヶ岳へ向いました。高田市街から次第に山路に入ると、残雪がありガスのため見通しが悪くなりました。十八時頃山荘京ヶ岳に着。十九時から清里区の関係者も合流して宴会になりました。

郷土芸能「龍神太鼓」を地元の有志が披露してくれました。地元の春の山菜：蕨のとう、筍、蕨：を中心に新鮮な料理で款待して頂きました。

翌十四日は朝の内は霧雨でしたが、十時頃には曇天となりました。晴れていれば山荘から須城平野の大バノラが見えた筈とのこと。ガスの為須城平野が見えず残念でした。

八時五十分送迎バスで山荘京ヶ岳を出

発。「上越清里星のふるさと館」でプラネタリウム「春の星座」、隕石などの展示品を見学し、十時十分頃、岩の原葡萄園に到着。一九九〇年、日本のワイン葡萄の父「川上善兵衛」によつて拓かれた第二号石蔵（「一八九八年」などの見学、ワイナリーでのワインの試飲、買い物をし、十一時頃菅原神社「菅原前方後円墳」の見学、折の美術感「創作折り加味：等身大の折り紙」の鑑賞をしました。この頃には太陽が顔を出してきました。

十一時五〇分頃、菅原神社近くのそば処「芭蕉亭」に到着。此処で自家製石臼挽き手打ち蕎麦の昼食を頂きました。十二時四〇分「芭蕉亭」を出発し、高田公園の側を通り：桜は昨日より赤味を帯びていました：高田駅に十三時十五分に到着しました。

高田で下車するメンバーと別れ、送迎バスは直江津へ向いました。私は高田で皆と別れ、もう一夜高田に泊まることにしました。午後、従姉妹と車で北陸自動車道を行ってみました。道路筋にある糸魚川市（旧能生町）の「かにや横丁」へ寄ったところ、冷凍の味も素つ気も無い蟹を食べさせられました。観光を旗印にしても一部の業者でしょうが、この様なやり方では駄目ですね。

他の地域でも観光道路際では、梨、蜜柑、葡萄などの地元産品の粗悪品を、一



元客向けに販売しているのを時々みかけます。北陸自動車道を柿崎付近迄走ってみました。私が知っていた風景と全く異なり浦島太郎の様な感じでした。夜、本町の某飲食店で食事をし上越市の過疎化に付いて意見を聞いてみたところ、市街地内に無料駐車場を設けないと人寄せが出来ない。特に六月一日からは大変だとの声がありました。

翌十五日午前晴天、高田公園の桜を見に行きました。桜は既に五分咲き程度に開花し、高田城三重櫓、濠、残雪の妙高山を背景に美しい姿を見せてくれました。神社社に参拝し帰途につききました。

関係各位の皆様のご苦勞に感謝し、またの機会を楽しみに筆を置きます。



花見会場



宴会場





雨天のため厚生南会館で乾杯



清里の残雪



清里の宿



郷土演芸





清里星のふるさと館



岩の原葡萄園



岩の原 萩原社長



石蔵見学



川上善兵衛資料館



菅原神社



折の美術感見学

前島密翁のお墓詣でと 海洋研究開発機構見学

千葉県大網白里町

藤沢勝一郎（東本町四丁目出身）

平成十八年五月二十日土、横須賀市の浄栄寺にある郷土の偉人前島密翁のお墓に詣でた後、独立行政法人海洋研究開発機構の見学をしました。

当日、家を出る時は天気雨、集合場所のJR逗子駅に着いた時は曇り空、午後にはすっかり晴れ上がっていました。

勉強会参加者五人は、駅前からバスで浄栄寺へ。翁は、上越市（旧下池部村）出身でわが国郵便制度の父として知られていますが、そのお墓がこの寺にあることはあまり知られていませんし、まして上越市民がお墓を詣でることなどほとんど無く、Jネット会員も今回が初めてです。寺の入り口には「郵便制度創始者 前島密翁の墓所」の石柱があり、石製矢印も数箇所にあるので迷うことなく墓所へ行くことが出来ます。

私達は、墓前に線香を手向け合掌。スベースシャトルのような墓のデザインは、本人によるものとのこと。墓近くの業績を記した石製説明板には「……一八三五年一月七日に生まれ、……郵便事業の創始者として広く知られていますが、郵便事業にとどまらず、郵便為替、郵便貯金の創業など、今日の郵政三事業の基礎を確立したばかりでなく、東京専門学校（現早稲田大学）や訓盲院（現筑波大学付属盲学校）の創設に関与するなど……その他にも鉄道、陸運、海運……新聞事業の推進など幅広い分野で日本文明の発展に多大な功績を残し、その先見性や積極果敢な行動力には大変すばらしいものがありました。また、趣味は尺八、俳句、漢詩、書、築庭などで他の人の追従を許さぬ域に達していました。……余生を当地で過し一九一九年（筆者注四月二十七日）

八十五歳で死去され……」とあり、翁の業績に改めて感銘を受け、同時に、民営化後も翁の所期の目的が、曲げられることのないよう願って止まないところです。

翁は、この寺の一角に「如々山荘」を建て、晩年を夫人とともにゆつたりと過ごし、自叙伝を書かれたとのことでした。

またこの寺には、運慶作といわれている国指定有形文化財 阿弥陀三尊像があり「横須賀風物百選」にも選ばれていますが、寺の担当者が留守で拝観は出来ませんでした。

午後から見学した同市内の海洋研究開発機構は、特殊法人等で海洋科学技術センターと称されていましたが、東京大学海洋研究所との国立研究機関統合後、現在のように改称されました。この機構は海洋を中心とした地球環境変動・深海微生物・海洋資源等の研究開発、技術開発を総合的に実施しているわが国唯一、世界有数の研究所です。

この日は研究所の一般公開日で、子供連れれたお父さんお母さんも大勢来ていました。

最初の見学は、深海のものすごい圧力



です。直径一メートル、厚さ四センチメートル、重さ一トンの高張力鋼製の球が一、六〇〇メートル水深の圧力（一、一六〇気圧）で破裂しているものでした。深海探査では、この水圧に耐えられる潜水船等構造物が必要になるのが実感できました。ちなみに世界最深はマリアナ海溝チャレンジャー海淵の一〇、九二〇プーラスマイナス十メートルです。ここでもらったお土産は六、五〇メートル水深（六五〇気圧）で十分の一の容量



程度にまで縮んでしまったカップヌードル容器です。

アルコール原液を入れたら溶解変形の恐れはあるが、ウイスキー程度のものなら何とも無いとのことでしたので、翌日さっそく家で実験し変形無しを確かめました。

このほか魚、えび、海底土の中の微生物等を採取した所の深海高圧力を保持したまま、実験室内で生息させ観測、研究できる施設。また、海水温の変化や分布範囲が気象環境に影響し、台風・豪雨・早魃などの気象異常、災害などを引起す地球環境に影響することをスーパーコンピュータで解析・予測していることがパネル展示されていました。

この日は、直江津港沖三十キロメートル、水深九〇メートルでメタンハイドレード（燃える氷・固体状メタン）を採取した海洋調査船「かいよう」（三、三八五トン、長さ六十二メートル）の見学が出来ました。船上から見渡せば青い空、眩しいほど陽をキラキラ反射している海、半島の山の緑が目にしみます。

この調査船は、平衡安定性を保つため足が二本あるような双胴船で、船尾の双腕クレーンで有人潜水船、無人潜水船、調

査観測装置の着水や甲板への引き上げ作業を行います。甲板は、作業しやすいように広く取ってありますが、船内の階段は客船よりも狭く急勾配、廊下も狭くあちこちに凸状の仕切りがあつて歩きにくい。科学調査するこの船の操舵室にも、客船と同じように、航海の安全を願つての金比羅さんの神棚がありました。

直江津港沖メタンハイドレードについては、まず海底電気探査により地質・堆積物を調査解析してメタンハイドレードの存在を知り、次に海底まで届くワイヤの先に装着した採取器を船上から操作して採取したとのことでした。実物があれば触ったり、燃やしてみることも出来たのでしょうか、採取したメタンハイドレードはもう保存されていませんでした。

本日の勉強会はこれで終わり、研究所からバスで追浜駅へ。駅前の居酒屋で、ジョッキを傾けながらの反省会はいつものでおりました。

☆浄楽寺へは、ＪＲ逗子駅前の京急バス二番乗り場から三十分程、「浄楽寺」下車一分。

☆海洋研究開発機構へは、京急追浜駅前から京急バス「海洋研究開発機構」行きで七分程。



関西に住んで

「ネット副会長
堺市」

尾崎宗秀（新井出身）

東京より関西は遠い。その関西に、海外と東京の勤務十五年を除けばもう四十年になる。「まいどおゝきに」は平気で言える。

大阪の地を踏んだ当初は、同郷の友と「俺おまん」の会話が弾むと、呑屋のオツチャンが「お客さん達どちらの方で」と。気安い大阪では田舎弁丸出しでも構わなかったが、到頭半人前の大阪弁になってしまった。大阪は住み易いし格好つけんでもよい。第一食べ物が安くて旨い。それだけではない。今をときめく収益ナンバーワンの企業も関西出身が多い。儲かる種を生み出す自由進取の気風があるからだ。

所で私は戦前からの阪神タイガースファン。でも時代の波でどうなるか分らんが、巨人は勿論中日（太田前会長はフア



ンか）には負けるわけにはいかない。東京の内藤實さんに勧められてつい筆を消らせたが、皆様と共に今年も元気で過したいと念じています。



関西ふるさとへの会に参加して

杉並区 内藤 實（本町六丁目出身）

昨年暮れ、梅田の雑踏を抜けて、弥生会館に上越出身の約三十名が集まりました。

私は、運営委員のひとりとして、東京より藤沢理事と参加させてもらいました。市役所からは野澤さんと栗本さんが遠路お越しになり、太田前会長も名古屋からお見えでした。

郷土より用意された岩の原ワイン・牧区のとぶろく・雪中梅で乾杯して、自己紹介や関西の生活談義に花が咲きました。ご多分に漏れず、還暦を過ぎた方々ばかりです。

オバチャン達が三分の一おられ、流暢な関西弁が飛び交い、すぐに皆さんは打解けました。一方、オジ（イ）チャン達の挨拶の中で、郷里を離れて直接に当地に來られたのではなく、東京で修業され、



関西に移られた方も何人かおられるのを知り、上越と関西の繋がりは東京より薄いだけに「苦労もされた事と察しました。現在は安住の地として生活を謳歌しておられ、いつでも古都を案内しましょうと仰ってくださいるお気持ちに感銘しました。人生二度出来るものなら、私も当地に住んでみたい氣にさせられました。

太田前会長は小学校時代の女子同級生や、心斎橋で活躍されている郷土出身のママさんがおられたので「満悦でした。どこへ行っても前会長はモテマス。

再会を誓って解散しましたが、更に喫茶で談笑して酔を覚ましつづ、上越にお帰りの市役所のお二人を玄関で見送り別れを惜しみました。

東京や名古屋にない歴史と庶民の味を感じた一日でした。



神戸人です

神戸市 青山晃（直江津出身）

平成十五年十二月、三十有余年に及ぶ東京・神奈川での生活にヒリオドを打ち、この神戸を終の住処と定めてより二年半が過ぎた。昨今は、昭和三十四年四月（天皇・皇后ご成婚）昭和四十七年三月（浅間山荘事件）迄の十三年間にわたって、大阪で勤務していた時代の友人・知人・それに会社のＯＢ等と、関西の名所・旧跡・古社寺を訪ね、「悠久の都の散策」や「なにもの探険」それに「神戸ロマンの追及」をしている。

又五月末には、NHK大河ドラマ「功名が辻」で脚光を浴びている高知を観光してきた。これで全国四七都道府県の県庁所在地は全部訪れたことになり、古希までに全国制覇をしたという目標が達成できた。

さて、私がこちらへ転居するという話を東京の友人にすると「お前もいよいよ



関西人か」と言うではないか。すると咄嗟に出た言葉は「いや神戸人だよ」であつた。友人は京・阪・神は距離的にも近いし、その中心は大阪であるので関西人＝大阪人という考え方でいたようである。そこで一つの疑問が浮んで来た。関西とはイコール大阪なのか？近畿二府四県の全てを関西と呼んでいるのだろうか結局今でもよくわからない。然も、関西特に京都・大阪・神戸の三都は地理的にも京都・神戸間は僅か七十キロメートルしか離れていないのに、これ程歴史や文化等違ふ地域は日本いや世界にもないのではないかとと思う。

たれているがなかにはやや「卑下」したニュアンスで言われているものが多く、見受けられる。

特にマスコミで取り上げられるものは、極端に誇張されており、それをもつて「閑西人は……」といわれているのが非常に残念である。

私が勤務していた時代は、織田作之助の「夫婦善哉」とか谷崎潤一郎の「月芦屋」の旧宅は移築保存されることになったの「細雪」等に描かれている大坂ミナミや船場の「雰囲気」や「しきたり」が、周囲の人の会話からも感じられ、もののだが、「いとさん・こいさん」をはじめ「もうかりまっか」等の言葉もいまや死語になりつつある。

私ことで恐縮であるが、亡き義母は船場生れであり、本当の「大阪弁」船場言葉を感じたものである。今の大阪弁は

「吉本」に代表されるタレント達が話す言葉を描いているようにも思えて仕方ない多くのタレントは、それぞれの出身地の言葉方言に関西弁を取り入れたものであり、いわば「ヨシモト弁」といってもよいのではなからうか。然しテレビ番組のインタビュウの中で若い人達や子供が話す言葉は全国的に標準語（東京弁）に近いが、この関西の人々の場合には関西弁に誇りをもって話をしている。嬉しい限りである。そこで、京阪神に住んでいる友人や知人からのアドバイス、それに私自身の主観を交えて三都の特徴をまとめてみた。断っておくが、これはあくまでも一つの見方であり、お叱りを受けたり、これは一寸違ふぞと思われる箇所も多々あるであろうが笑い話として目を通して頂ければ幸いである。

歴史	京都	平安京遷都されて以来約千二百年	神戸開港(文政一四〇〇年)
イギリス	大阪	歴史・伝統・慣習	異国情緒・ロマンチックな街町
金の使い道		着たおれ	履きたおれ
ファッションセンス		・和服の匂付や感覚や着順を書く ・好み	・特に中高年女性にはお手ハダな原色も好き ・多色 キンキラキン
氣質		・イタズ ・京都の伝統美はこの排他性があったからこそ	・おもしろ・イタズ せつから ・京都美人 常識が良くつい買いたくなる
言葉		○○です	○○です
○○していただきます		○○です	○○してね
名物		・和菓子・漬物 ・会席料理・酒	・タコ焼き・お好み焼き等 大衆的食べ物
関西?		そうますけど? へー 京都です	わかりますか? へー 大阪ですわ
			神戸の方です

友をたずねて三千日(第三回)

横浜市

中村眞和(直江津出身)

その後、直江津へ行く機会もなく、そのままになっていたが、二〇〇三年九月父の故郷である親不知へ行った帰りに立ち寄ることにした。

前回の九九年九月の時は、時間が余りなかったため、直江津駅近くの時計台のある南小学校に立ち寄り依頼したのであるが、ここは私が中学一年生の時に通学した中学校であつた所で、多分、その後、団塊の世代に対応するため小学校が二つになった名残と思われる。しかし、今はそれぞれ一学年一クラスずつしかないとのことである。今回は、当時、通学し卒業した直江津港の近くの小学校を訪れることにした。

前回と同じように、記憶を頼りに作成した小学校時代のクラス担任の先生の名前(一〇二年 岩島トヨ先生、三二四年・

佐藤幸子先生、五〇六年・清水茂夫先生などを記載した資料を持参して、現在の直江津小学校の校長先生を訪問した(九月一七日)。義務教育のため、同じ中学へ進学するので、中学校のクラス会が普通であり、小学校のクラス会や同期会はやっていないようであるとのこと。私は、直江津中学校を卒業していないので中学のクラス会には参加しにくいと思った。その時頂いた「創立二二〇周年記念誌」(平成三年十一月発行に記載されていた同窓会長を紹介していただき帰りに訪ねてみた。しかし、良い情報は得られなかった。

直江津小学校の同期生(昭和二十七年三月卒)をたずねる旅は、なかなか進展せず諦めかけていたが、気を取り直して二〇〇四年夏活動を再開することにした。

今までは、直接同期生に会うことを考えていたが、少し範囲を広げて同窓生や同郷の人と会うところから考えることにした。以前「創立二二〇周年記念誌」と一緒に頂いていた「東京あらうみ会」の会報(平成十年十月発行)のコピーに記載されている東京日野市のあらうみ会に電話することにした。その電話番号は、あらうみ会会長今井勇氏の自宅のものであつた。ところが驚いたことに、今井会長は、最近亡くなられたばかりであり、お願いの話ができなかったが、後に奥様から電話があつて、後を継ぐ会長がいないので解散することになったとのことでした。その際に新潟県人会を紹介されたのですが、範囲が広すぎて直江津小学校の同期生にたどり着くのが困難であると判断して県人会には連絡しなかった。

九九九から始まった三〇〇〇日の旅は、まだ続いている。(つづく)
二〇〇六・五・二四(2450日)
(注)「友をたずねて三〇〇〇日(2)」は、「お元気ですか」(2004・18)に掲載しています。



楽しい思い出いっぱい ふるさと離れて早五十年

葛飾区 大滝恵三（大手町出身）

高校を卒業して上京、古里高田を離れて丁度五十年経った。今でも私は、高田の人、上越の人、そして新潟県人という意識は変わらない。古里にこだわり続ける理由は、一、古里高田での思い出は良かったことばかりであった（詳しくは後述）。二、古里が常に身近にあり、私を癒してくれている。具体的には、①学生時代、古里の学生寮に在籍したお陰で寮友との交流が深い。②私の勤務地周辺に、中学、高校時代の同級生が多かった。③高校の同期会の事務局を担当している。④

Jネットが誕生した時、上越市東京事務所が私の勤務地の目の前にあり、運営委員を務めていたこともあつて頻繁に出入りしていた。三、古里には全国に誇れる見どころが、夜桜やハスの高田城址公園はじめ、前島記念館、岩の原葡萄園、スカーレットの地、春日山城跡周辺の社寺な

ど多くあり、しかも酒、米、海の幸が格別に旨いということで、東京からいろいろな仲間を案内する機会が多く、その度に古里に自慢している。四、古里に帰省する機会が多く、その度に城址周辺はじめ、古里の移り変わりを確認している（この三月にも帰省し、五十年記念の家族ぐるみの写真を収めてきた）。

思う存分遊んだ高田での思い出の数々

子ども時代、本当に良く遊んだ。勉強はテストの時だけの一夜漬け、受験勉強もした記憶が無い。小学校低学年では主として野球、といつても手製の布ボールかゴムボールでの三角ベース。高学年では歩いて三分の城址外堀での魚釣り、小ぶりのフナが良く釣れた。釣った魚は自宅の小さな池に放したが、野良猫の餌食

になることが多かった。内堀での釣りはあまり釣れなかった。夜の鰻釣りは時々五十センチ位のが釣れ、蒲焼にして食べた。内堀では他に、菱の実取りや赤フンでの水遊びなどもやった。城址周辺ではギンというトンボの釣り（釣り方については昨年九月の「お元気ですか？」に他の方が書いています）も良くやった。左手の指の間に二匹ずつ八匹になると自宅に帰り、締め切った部屋に放すが、翌日までに死んでしまう。榊神社ではセミや兜虫捕りも。

小学校時代、最も得意な遊びは、エシタという長方形のメンコで、五十センチ四方位の裏返しのお盆の上に、参加者がエシタを一枚ずつ乗せ、順番に「出し」か「はぐり」で成功したらもう。取られた方はまた供出する。一年位で奪ったエシタはミカン箱満杯に。五年位から始めた卓球は、高田公園内の公民館で、遊び半分で行っていたが、六年の時、市民卓球大会小学生の部で優勝し、以後高二まで部活動としてやった。

家の中では、野球、相撲などスポーツの実況中継と歌謡曲番組を聴くため年中ラジオにかじりついてた。野球はプロ、高校、六大学などの中継をスコアブックを付けながら聞くことが多かった。歌謡曲はラジオだけでなく、好きな歌のシン

グル盤、好きな歌手のSP盤のレコードも良く集めた。ラジオは五級スーパードという大きなもので、上京の友にした。

高田時代の極め付きは学童野球との関わりだろう。昭和二十年代の後半、大手町小学校では毎年八月中旬の三日間、校内町内対抗野球大会があった、私が中三、弟が小六の時、私の住む大手町チームの練習に私が自発的にコーチ役として参加していたところ、監督を務める町内会のボス（市役所職員で隣家のK氏）に、大会直前までの指導を頼まれた。弟が主将でキャッチャーの大手町は見事優勝した。以後私は大学四年までの八年間、同チームの面倒をみることとなり、毎年七月一日から、朝五時に子どもたちは、用具を



家族写真

預かる私の家に集合し、一軒おいた大手町小学校校庭で七時まで練習する。練習は主として打撃と実戦的練習に費やした。打者はバットを短めに持ち、当てればヒットかエラーで出塁する確率が高く、出塁したらスキを突いて次の塁を狙うなど、基本以外の要素も未熟な子どもに教えた。この結果、八年のうち五回も優勝したが、勿論毎年、素質の高い二三人の選手に恵まれたことも大きかった。私は試合で指揮は執っていないが、私の存在は轟き、寺町二の五十嵐監督、大町三の佐藤監督（マンガ堂）と共に『大手町の大滝は高田の野球三バカ』と謳われた。



青田川



お花見会場



神神社



公民館（旧高田権行社 現存せず）

上越市と御所市 売薬がとりもつ縁

奈良県明日香村在住
三光丸クスリ資料館館長 浅見 潤

皆さんは三光丸(さんこうがん)という胃腸薬をご存知でしょうか?「あああの五角形の袋に入ったクスリ」と答えた方は、なかなかの置き薬通(っつ)とお見受けします。

奈良県南部の御所(ごせ)市に、三光丸本店という配置薬の製造会社があり、ここでは敷地内に「クスリ資料館」を開設し、県の薬業に関わる資料を蒐集・展示しています。筆者はそこで館長を勤めさせていただいておりますが、今回は当館が所蔵する資料の中から、上越市と配置売薬(置き薬)にかかわりの深いものをご紹介します。

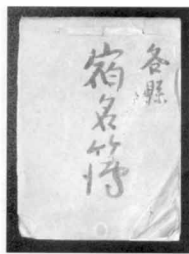
陳列ケースに並べられた展示物は、普段は黙して何も語りませんが、ときとして生き生きと光を放ち、何かを雄弁に語らけてくれることがあります。

表紙に『各縣宿名簿』と手書きで記された帳面を紐解くと、以下のような旅館の一覧が目に入ります。

新潟縣	中頸城郡 直江津町 駅前 木南屋宿
中頸城郡 湯町 八木宿	中頸城郡 柿崎村 元間屋宿
中頸城郡 吉川村 大字原野町 吉田宿	中頸城郡 黒岩村 大字和合 榎屋宿
中頸城郡 吉川村 大字泉谷 大原屋宿	中頸城郡 保倉村 大字青野十文路
中頸城郡 田中屋宿	中頸城郡 上秋村 大字岡田 界屋宿
中頸城郡 高土村 大字大口 渡辺宿	中頸城郡 柳池村 大字棚田 松田屋宿
中頸城郡 新井町 上越館	中頸城郡 鳥坂村 大字除戸 峯村宿
中頸城郡 関山村 岡本宿	

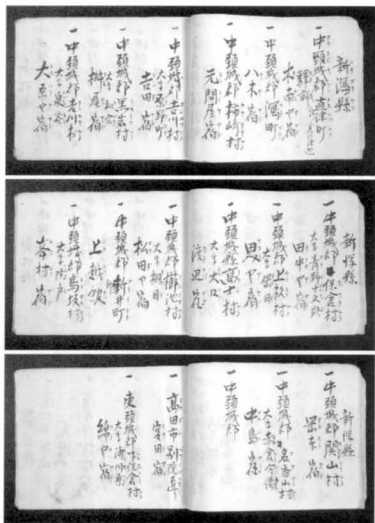
中頸城郡 名倉山村 大字赤倉分湯 中島宿
高田市 別院通り 宮田宿
東頸城郡 下保倉村 大字浦川原 綿屋宿

これは大正昭和初期の資料で、三光



丸の配置員が宿泊してもよい宿屋を列記した名簿です。もともと配置売薬は信用を重んずる商売ですが、特に三光丸本店では、「顧客との応対は丁寧かつおたやかを旨(むね)とし、人品、職業、貧富あるいは親密の度合いによって差別してはいけない」「旅館では礼儀作法に留意し物見遊山の宿泊でないことを意識すべし」「廻商地で災害があったときはできるだけ早く駆けつけて救助活動を行なう」など誠実・勤勉を重視し、行商人の模範となるよう、言葉遣いから立ち振舞いといったるまで厳しく指導していたようです。

上記の資料は、「安さ」にまごわされず、



信用のおける格上の宿に泊まること」という内規によって作られたものと思われるます。

甲信越から東北・北海道にかけては、明治のはじめから配置売薬が盛んでしたが、特に新潟県は三光丸にとって聖地ともいえる地域でした。

粘り強さ、人のよさ、安定性といった県民性が配置のシステムと適合したせい、古くからのお得意が多く、中でも上越市は抜きん出た『上得意』となっています。

「そういえば年に一度か二度、柳行李（やなぎ）（おり）を担いだ配置の小父さんがやってきて、よく紙風船をもらった」という記憶をお持ちの方も結構いらつしやるかと思います。

ぜひ一度、資料館をお訪ねください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.sankogan.co.jp/>

（注）浅見さんは「夫婦で歩く大和の隠れ寺」の著書であり、孝子夫人は直江津出身、四国八十八ヶ所、西国三十三ヶ所の公認先達として活躍されています。こんな縁で昨年のJネット近畿地区サロンにご夫婦で参加していただきました。



思いだす風景と出来事

福井市 平山克夫（四ヶ所出身）

退職して四年近く、旅行、転勤、出張などで行った各地の風景、行事、出来事が思い出されます。また現在住んでいまず福井市は戦国時代の城下町から歩んできた都市で環境が上越市と似ていますが、ふるさととの風景とその思い出にまさるものはありません。私は小、中、高校と少年時代を上越市で就学し育ちました。その地域、通学途中、校舎の窓から眺めた風景、そこでの出来事が心に残っています。

代に写生をした思い出で深い風景のひとつです。写生を早めに終了し荒川で泳いでYさんに「死んだらどうするのですか？」と厳しい注意を受けた記憶があります。



明治村に高田より移設された「小熊写真館」

それぞれの地域から見た妙高、火打、焼山、米山の姿と山並みは印象に残りますが特に頸城平野に裾野を広げる妙高山の峻線は富士山のそれよりも美しく私は思っています。最近でも妙高山の姿を高田公園の桜、蓮とともに写生、写真撮影で楽しんでいきます。

夏は近くの用水路、荒川での水泳、谷浜海岸での林海学校、笹ヶ峰牧場でのキャンプ、妙高、火打山への登山、キャンプ場では夜中に空き瓶が飛んできました。昼間は今では吸えないような美味しい空気が存分吸えましたが、つらい外輪山の登山コースでした。いなごとりとその佃煮の給食も思い出です。

秋には落穂拾いとその給食、またモクズガニつりと鮭つりは現在行方ない人はいないのではないのでしょうか？暗闇で青蛙をえさにボチャン、ボチャンと音を発てるとガボツ、ガボガボと鮭が洞から出てきて食いつく、稲刈り休みを利用しての面白い遊びでした。

冬の遊びは雪合戦が相撲そして日本で最初にスキーを始めたと担任から教わった連隊跡地、金谷山か近所の庭へ侵入してのスキーでした。猛吹雪の日の通学や通行は田と道路の境界がわからない中でした。翌日の雪原上には雪玉とはさ木に着いた雪、この景色は最近見たことがありません。

最後に春の俳句を一句
「若あゆのいきをも制す花いかだ」

趣味悠々で、講師が歳までかさん、萩尾みどりさんの講座を見ながら春の冷たい高校のプールを思い出し詠んだ句です。



上段左が平山さん

「上越市出身者のちよつといい店」

JR荻窪駅西口
旬菜「なでしこ」

和食処で料理も酒も美味しいお店。

料理長（おやじさんと呼ばれているが：この木南英男氏は直江津の古城出身で私の後輩で直江津高校を昭和四十一年に卒業している。直ぐに上京し和食の師匠の下、修業に励んだ由。師匠が関西出身者のため和食も関西風の趣がある。新鮮で上等な食材を使って仕上げる一品一品は上品で奥ゆかしさを感じさせる。お造りはもとより手の込んだ一品一品が薄味で料理人の腕の良さがうかがえる。店の名前の如く旬のものがある。今は鮎。田舎から取り寄せた山菜。

店内は新装開店（青山のシアアイプラザの中にあつたが閉店し最近荻窪に京料理を移ったばかり）のため明るく清潔感

にあふれている。椅子席も掘り炬燵席もあるが、なんといつてもカウンター席が良い。おやじさんが目の前で料理を作ってくれるのだ。会話を楽しみながらの一献もまた格別。お酒は上越市の安塚区の「菱ヶ岳」。若干辛口だがすっきりとした美味しい酒だ。この酒との出会いについてはエピソードがあるようだがそれは「おやじさん」から聞くのを楽しみにして欲しい。

木南氏は書や絵（日本画）にも通じるところがあるようでお品書きなどは直筆とのこと。お客さんが俳句を作ればコースターの裏に毛筆で俳句と寸画を書いてくれる。良い記念になるのでお試しあれ！

グリーンピースで作ったムースのデザートなども健康に気を使った絶品。ぜひご賞味あれ！

ふるさと上越ネットの会員証でも見ればそれ相応のサービスしてもらえると思うので、是非お試し下さい。（美味しくなかったりサービスが悪かったら、まず私に文句を言ってください。もつとも食にうるさい荻窪在住の会員も絶賛していましたので、それなりに自信はあるのです。）

所在地 杉並区上荻一・一五・四

オキタビル 二階

電話 (03) 3339-1151 六

休日 月曜日

営業時間 昼十一時三十分～十三時三十分

夜十七時～二十時三十分

（紹介者 勝島敏明）

「今回からシリーズで上越出身者がオーナーが板長のお店や、上越市に縁のあるお店で会員の皆様を紹介するコーナーを設けました。安くて美味しい店なら、お店の大小を問いません。積極的な投稿をお待ちします。」



平成十八年豪雪

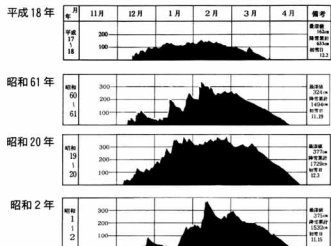
昨年十二月十日から降り始めた雪は、その後も断続的に降り続き記録的な豪雪となりました。安塚区、大島区、清里区では積雪四メートルを超えました。高田市街地では昭和六十一年以来二十年ぶりの一斉雪下ろしが一月中旬に行われました。屋根の雪を道路に下ろし、ダンブカーで排雪する作業で、家屋の倒壊を防ぎ車道確保する大作業です。

因みに屋根の積雪が一四〇センチを超え、重量が一平方メートルあたり四二〇キロを超えるとこの処置が決定されること。

高田では、三月八日に一六二センチの今年の最大積雪を記録しました。

積雪三メートル以上の記録を持つ伝説的な昭和二年、二十年、六十一年の最深値と降雪累計グラフで今年の大雪を比較して下さい。全く及びもつかないのが一目瞭然です。

とはいえ、車社会となり生活様式が全く変わった今日、雪とどのように係わりながら良いのでしょうか。



昭和2年の大雪（本町1丁目）



昭和20年の大雪（旧郵便局付近）



平成18年（一斉雪おろし）



平成18年（一斉排雪）

気象庁は、多くの人命被害と村落の孤立化、停電、交通機関等への多大な被害をもたらした今年の大雪を「平成十八年豪雪」と命名しました。

上越市だより

映画「ふみ子の海」

上越市 松川太賀雄（稲田出身）

この春、三月初めから約一ヶ月間、映画「ふみ子の海」の撮影が上越市内の各地で行われ、現地アドバイザーとして関わりました。上越市は映像を通じて上越の魅力を全国へ発信するために、映画やテレビドラマなどの撮影を誘致し支援する「上越フィルム・コミッション」を設立してバックアップしました。

この映画は、高田盲学校で教鞭をとり盲女性自立の先達者となった栗津キヨさんの体験をもとにした、児童文学者市川信夫氏の原作「ふみ子の海」（一九九一年に児童福祉文化賞受賞）の中から、主に昭和初期、その少女期を描いたものです。

「母ちゃん、海つてきれいだ……」
「きれい」という言葉を、目の見えな
い人が使ったら、おかしいですか？



これが、この映画を通して皆さんに考
えていただきたいテーマです。

そして、満開の桜花を、むしゃむしゃ
と噛み締めるふみ子の姿から、美しさを
感じる方法は千差万別であることを、皆
さんに知っていただけたらでしょう。

昨年の秋からロケハンと合わせて上越
の風景や自然の実景を撮り始め、三月に
キャストと撮影スタッフ（約五十人）が
上越に来てロケーション入りし、市民の
エキストラ協力があつて牧区の明願寺を
かわきりに大島区の飯田邸や大町の旧今
井染物屋、仲町の宇喜世前などで撮影し
て、四月に予定通りクランクアップしま
した。

ロケハンで昭和十年頃の雰囲気がある
医院を探した時、つれあいの実家が候補
に上がったことから、台本では山本医師

として私が出演することになりました。
ヒロインふみ子（鈴木理子さん）と「あ
んま屋」の主人（高橋恵子さん）との共
演で、「こゝ臨終です」という台詞である
のです。ふみ子の姉弟子のサダが吹雪で
行き倒れになり、医院の診察室にかつぎ
こまれたときはもう虫の息、というこ
ろから始まり、死亡を確認するまでの場
面です。

死亡確認の手順は、友人の工藤病院々
長に教示を受けて臨みました。

まず脈を取り（手首に人差し指、中指、
薬指の三本の指を立て気味にして）、次に
胸元を広げ聴診器で心音のないのを確か
める。昭和十年頃の聴診器は耳におさえ
るスプリング状の物がなく、両耳の穴に
差し入れるだけでゴム管の重量を支える
のです。今にも落ちそうだったけれど、う
まく行きました。

次の瞳孔のチェックは、今ならベンラ
イトを使うのですが、当時は普通の懐中
電灯を使っていたらうと議論しながら
でした。

死亡時刻の確認も「こゝ臨終です」と言っ
てから時計を見るのか時計を見てから言
うのかなど、細部にまでこだわり、こう
して、「こゝ臨終です」が無事済みました。
監督からは「芸達者」だと褒められたの
ですが、素直に受けとめています。

映画の中に、見慣れた景色が映像化さ

れ、市長の姿や顔見知りも多々登場しま
す。完成は十月初めの予定です。お楽し
みに。



上越市だより

直江津港沖に「燃える氷」の塊 メタンハイドレート発見

直江津港沖三十キロメートルの海底深部に、高密度のメタンガスが氷状に閉じこめられ「燃える氷」と呼ばれる「メタンハイドレート」が、海洋調査船「かいよう」等の調査で存在していることが分かった。一部は海底に幅一〇〇〜二〇〇メートルにわたり露出点にしていることが確認され、海底面から地下数キロにわたって、巨大な天然ガス田があると期待されている。

「メタンハイドレート」は高密度のメタンガスが閉じこめられた氷状のもので、将来石油に変わって利用可能と考えられています。ひよつとすると上越市は大工業地帯に変身するのも夢では無いかも知れません。



ゴマフアザラシのジョー 上越市立水族博物館

私の名前はジョー、上越の「上」から付けられました。一九八〇年に北海道からやって来た約三十才の雄のゴマフアザラシです。

得意はブルですくつと立ち続けている事です。写真をご覧ください。

私のおかげで水族館には毎日毎日沢山の人がやって来るようになりました。また多くのテレビでも紹介されたので上越市は一層有名になったのではないでしょ

うか。

お役に立てて幸いです。

未だ見てない人は是非来て下さい。

お待ちしておりますジョー。



上越市 新コーディネーター 行革推進

松川太賀雄副会長



昨年度、行革市民会議のメンバーとして第三次行革大綱策定に尽力した。市民会議の本来の役割は二次大綱に対する上越市の取り組みの評価だったが、明確な目標のないものをどう評価するのか。その判断基準を明らかにする必要がある」と庁内会議と連同し、大綱の見直しを図った。本年度からは、理事者側の席に着く。

「最小の経費で最大の効果」という行革本来のねらいを推進するため、民間の経験をいかした広い視野から市に提言をする。「官は自浄作業に鈍感。できない理由をうまく言うが、できる工夫をしない。最後には、行政になじまないと。なじんでいることをやっていけば何も変わらない」と行政体質に手厳しい。

大手食品メーカーのエスビー食品で財務部、管理部など各部長を歴任。その後、

エスビーガーリック食品の社長に就任。職を退いてから故郷上越に戻った。「会社というしくみの中で、トレーニングの場があり、そこで当社流の手法を考えてきた」と話し、今度は民間での経営実践のノウハウを上越市役所に置き換える。

自らの果たすべき役割を「可能な限り逃げ場のない目標を立てさせる」、PDC Aサイクルの定着「進ちよく管理システムの導入」とあげ、「その道筋をつけることがこの一年の仕事」と言う。バブル崩壊後、効果的効率的な経営体質に改善した手腕を、厳しい財政状況にある地方自治体の経営にも発揮していく心構えだ。

〔上越タイムスより〕

井手高吉理事



就任打診に「ふるさと愛かな。地元からのオファーでなければ受けなかった」と笑う。

直江津港の振興を考える時「ローカルポートで考える時代ではない。世界的なグローバル経済を抑えておく必要がある」と一家言をもつ。

「世界は激変している。物流の流れが太平洋側から日本海側に移っているともいえる。今までの主要港が主要港でなく、急成長するローカル港も」と直江津港のポテンシャルを説く。中国の急速な成長、ロシアなど国際海上物流も複雑化しているという。「BRICS（Bはブラジル、Rはロシア、Iはインド、Cはチャイナ）中国を指し、成長性のある新興諸国」の動きに加え、タイも今後注目される」と言う。

そのためにも「行政、商議所、企業も

グローバルな目線で見ても、きちんとフォーカスする姿勢が求められてくる。」具体的に「韓国の釜山港がハブ（中核）港になりつつある。直江津港には追い風。ルートを増やす可能性がある」と分析する。

そのうえで「港も物流も荷客・顧客のニーズに合わせて考える必要がある。物流を仕入れから販売に至る物の流れの管理活動で考える」ロジスティックスな考え方をアドバイスしている。

【上越タイムスより】



地に密着した総合タウン誌

月刊 **JACK LAND**
上越エリア情報誌 ジャックランド

320円

毎月25日発売

定期購読承ります

新潟県上越市上島464-1 エリート2F
TEL.025-524-4275 FAX.025-524-4451
e-mail j-4275@lily.ocn.ne.jp

NPO法人 食の工房ネットワーク

NPO法人・食の工房ネットワークは、私たちが目指す「『食べる側』と『作る側』を本来の姿につなぐ活動」を中心に、お互いの立場から結びつきを大切に、畑から食卓までの流れの中で、安全性や品質に“透明性”を求めることを共通の目的として設立いたしました。消費者と生産者がお互いに通じながら、安全な地域の生産品を、安心して食べることが出来るように“食に関するプラットフォームづくり”を進めています。



上越市の田舎と妙高山系

こんな活動をしています

- 農産物・加工品に関する情報収集及び情報発信
- 農産加工品に関する調査及び研究
- 地場農産物・加工品の消費拡大事業
- 自然を通じて子供たちに五感を感じさせる活動

これらのコンサルティング・教育・講習を
中心に事業展開しています。

会の運営に
ご協力いただいている
特別賛助会員です。

- ★特別賛助会員とJネットはお互いに協力しながら良い街づくりをめざします。
- ★Jネットでは会の運営に協力していただける特別賛助会員を募集しております。
- ★皆様のご存知の企業・団体等で賛助会員をお願いできるようなところがありましたら是非ご紹介ください。

介護付有料老人ホームおよびショートステイ

サンクス高田

上越地方で初めての有料老人ホームです。詳細の事はぜひご内覧ください。

- 介護付有料老人ホーム (3階～5階 全個室 54室)
 - ・老後は故郷の高田で暮らしたい。
 - ・単身になってみて、兄弟、友人、知人のいる故郷の上越に転居したい。
 - ・高田のまちなかの終身利用権型のホームで安心して暮らしたい。
- ショートステイ (2階 全個室 20室)
 - ・故郷の両親の暮らしが気になって、時々世話をして欲しい。
 - ・故郷の両親には、健康相談、話し相手、友達作り等の楽しい生活環境で過ごしてほしい。
 - ・ご旅行、出張、転勤の時は両親の介護を頼みたい。
 - ・冠婚葬祭や行事の時は、両親の介護を頼みたい。
 - ・ご家族の介護疲れの軽減、身体を休めたい。
- お問合せ先 (資料をお求めください)

介護付有料老人ホームおよびショートステイ サンクス高田
〒943-0892 上越市寺町3丁目10番11号
TEL. 025-525-7038 FAX. 025-526-7236
E-mail info@sankusutakada.co.jp

株式会社 くびき野ライフスタイル研究所

創業明治23年

伝統の味 岩の原ワイン



～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 岩の原葡萄園

TEL 025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

日本の本格ワイン発祥の地「岩の原葡萄園」は、明治23年の創業以来、3世紀にわたって高品質のワインを世に送り出してきました。
お蔭様で上越市の代表的な特産品として、多くの方にご愛用いただいております。さて、弊社では、遠方にお住まいで近づくに岩の原ワイン取扱店がない方に向けて、「岩の原ワイン みゆき会」の会員を募集いたしております。
ワイン10,500円以上のご注文で送料無料、ご入会プレゼントや、お買上げのポイントによるプレゼントなど、色々特典がございますので、Jネット会員の皆様も是非ご利用下さい。
ご問合せ 株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

山里のすべてが湯ったり村です。

寂 静 瀬 音 風 鳴 花 薫 紫 昏 月 明
星 雨 狭 霧 伝 説 豊 饒 叢 雲 蒼 穹



十人十色の癒しの祭
ぐわとり湯ふり村 上越市皆口601
TEL 541-2611 FAX 541-2616

毎日、発行しています。

ふるさと
懐かしい故郷の香りや音を、
ふるさと
そして新しい故郷の風をお届けします

上越タイムス

■ご購入のお申し込みは■

0120-17-4243

本社/〒943-0823 新潟県上越市高土町2-4-6
TEL025-525-6666 FAX025-525-0061
<http://www.j-times.jp/>

¥ ふるさとへの便りに…
郵送は2,875円(郵送料込)

JAえちご上越管内の
大豆米を使用した自慢の味噌です

熱蔵みそ

味噌路

みそ路
赤みそ・白みそ
カップ入り

テレビで話題の酒粕入味噌

お問い合わせは

JAえちご上越

えちご上越農業協同組合 あぐりフーズ
〒942-0061 新潟県上越市春日新田5-3-11

0120-81-1093

インターネットから「ごちそう市場」www.ja-ichiba.com お買物ができます。

上越市の主な催し

「平成18年度上越市イベントカレンダー」より、Jネット会員にとって興味がありそうな催し物を抜き出してみました。なお、内容は、都合により変更になる場合もありますので、ご予約をたてられる前に「問い合わせ先」または上越市企画政策課（025-526-5111）の方へ確認してください。

7月

開催日	名称	場所	問い合わせ先	内容
7日(金) ～9月3日(日)	総合博物館 所蔵品展	総合博物館	総合博物館 Tn025-524-3120	新収蔵の岩野勇三彫刻作品をはじめ、郷土ゆかりの美術作品を展示します。
7日(金) ～9月3日(日)	小林古怪 模写の世界	小林古怪記念美術館 ・小林古怪邸	小林古怪記念美術館 Tn025-523-8680	これまで収蔵した素描作品の中から古画の模写を中心として、古怪の「原寸大レプリカ絵画」を併せて展示し、古怪の画業を紹介しします。
15日(土) ～8月20日(日)	夏季特別展 「イルカショー」	水族博物館	水族博物館 Tn025-543-2449	ハンドウイルカ2頭による楽しいショーを1日6回行います。
20日(木) ～8月20日(日)	上越はすまつり	高田公園	上越はすまつり実行委員会事務局 (観光振興課内) Tn025-526-6901	東洋一と賞される高田公園のはすの見ごろに合わせて、文化・スポーツ両面の多岐にわたる行事が行われます。
22日(土) ～8月27日(日)	雪だるま高原 わいわい動物園	雪だるま高原 キュービッドパレイ	キュービッドパレイ Tn025-593-2041	大形の草食獣や猛獣を見ることが出来ます。かわいらしい小動物とのふれあいコーナーも設置されます。
23日(日) ～29日(土)	上越まつり	高田地区及び 直江津地区	上越まつり実行委員会事務局 (上越観光コンベンション協会内) Tn025-543-2777	23日～26日高田地区、26日～29日直江津地区でそれぞれ開催されます。ひとつの御興が二つの地区を結び、26日に川を下って還御されます。
29日(土) ・30日(日)	名立まつり	名立区内	名立まつり実行委員会事務局 Tn025-537-2121	前夜祭として大民謡流しで幕を開け、本まつりでは、各種イベントが多彩。まつりのフィナーレを飾る海上花火大会は、海上に巨大な扇状の花を咲かせます。
30日(日)	観光地引綱	柿崎川西海岸	柿崎観光協会 Tn025-536-6712	捕れた魚は持ち帰りができます。また、地元民謡の皆さんによる海賊汁のサービスもあります。

8月

開催日	名称	場所	問い合わせ先	内容
5日(土)	きよさと夏祭り	清里中学校グラウンド	清里まちづくり振興会 Tn025-529-1218	清里区の真夏の一大イベントです。聖水みこしが20kmを練り歩き、勇壮な龍神太鼓が祭りを盛り上げるほか、出店も多数あります。
5日(土) ・6日(日)	柿崎時代夏まつり	柿崎小学校前広場	まつり実行委員会事務局 Tn025-536-6712	上杉謙信の四天王として名高い柿崎景家公を称え開催される祭りです。山車、みこしパレードなど多彩な催しが行われます。
5日(土) ・6日(日)	頸城の祭典	ユートピアくびき一帯	頸城区総合事務所 Tn025-530-2311	民謡流しをはじめ、くびき芸能ステージ、子供みこし、特産品販売など多彩な催しが行われます。
6日(日)	安塚歩行天まつり (2輪4輪部品交換会)	安塚区安塚商店街	安塚商工会 Tn025-592-2265	早朝から実施する2輪4輪部品交換会のために、全国各地から愛好者が集まります。お昼を中心に、区内の商工業の皆さんが様々な屋台やお店を出し、にぎわいます。
6日(日)	うらがわらまつり	浦川原区総合事務所 駐車場	浦川原区総合事務所 Tn025-599-2301	よさこいソーランの共演やジャグリングなど楽しいイベントと数多くの屋台が出店し、皆で楽しむ夏祭りです。
6日(日)	納涼花火大会	柿崎中央海岸	柿崎観光協会 Tn025-536-6712	真夏の夜に色とりどりの花火が打ち上げられます。特に、海空スターマインが海面に映りこむ幻想的な美しさは見ものです。
12日(土) ～15日(火)	お盆特産市	雪だるま物産館	雪だるま物産館 Tn025-595-1010	採りたて野菜の直売をメインに実施します。地元かあちゃんの手づくり加工品、ちまき、笹だんご、かきもち、漬物などもあります。
13日(日)	板山不動尊公園 溪流まつり	板山不動尊公園 (大島区)	板山町内会長 小山 Tn025-594-3344	つかみどりした岩魚を、その場で焼いていただきます。先着100名様までです。
16日(水) ・17日(木)	謙信公祭	春日山城跡周辺	謙信公祭協賛会事務局 (観光振興課内) Tn025-526-6901	戦国の名将、上杉謙信公の武勇と遺徳を称え開催します。出陣行列や川中島合戦の再現など、戦国絵巻を繰り広げます。

9月

開催日	名称	場所	問い合わせ先	内 容
17日(日) ・18日(月・祝)	第6回 名立大鍋まつり	うみてらす名立	名立観光協会 ℡025-537-2203	500食が一度に作れる大なべで、かに汁・つみれ汁・えびのすり身汁・きのこの汁を作り販売します。
23日(土・祝)	大池まつり	大池いこいの森 第3キャンプ場	須城区総合事務所 ℡025-530-2311	青空市場、豚汁・おにぎりの振る舞い、魚のつかみどりなどが行われます。
30日(土) ～11月12日(日)	小川未明文学館 会館1周年記念 特別展	小川未明文学館	文化振興課 ℡025-526-5111	上越市出身の児童文学者である小川未明や未明に関わりのある人物・事柄に焦点をあてた特別展を開催します。

10月

開催日	名称	場所	問い合わせ先	内 容
1日(日)	くびき牛 炭火焼フェア	牧区ふるさと村 自然と憩いの森	牧振興会 ℡025-533-5141	牧区で育ったくびき牛を炭火焼で堪能できます。事前予約が必要です。
7日(土) ・8日(日)	姉妹都市・友好港 湾都市と上越市 の観光と物産展	上越観光物産 センター	観光振興課 ℡025-526-6901	各地の特産品を紹介するとともに、観光PR、市民交流を図ります。
8日(日)	花ときのこの 秋祭り	安塚区石橋地内	NPO雪のふるさと安塚 ℡025-592-2004	100万本の柳葉ひまわりが色鮮やかに咲く中で行う安塚中央町内会主催の秋祭りです。芸能発表のほかたくさん屋台が並びます。
13日(金):前夜祭 14日(土):大 会	えちご・くびき野 100km マラソン	市内一円	実行委員会事務局(体育課内) ℡025-525-4144	・100kmの部:リージョンプラザ上越スタート ・50kmの部:うみてらす名立スタート (ゴールはともにユートピアくびき希望館) 錦秋を織り成すくびき野を巡るコース。全国のランナーが集い、多くのボランティアの声援に励まれ、自身に挑戦します。
15日(日) ～22日(日)	雪だるま高原 紅葉祭り	雪だるま高原 キュービッドバレイ	キュービッドバレイ ℡025-593-2041	標高 1,129m のシンボル菱ヶ岳を錦秋の紅葉が彩り、輝く雪だるま高原エリア。ゴンドラを利用し、鮮やかな彩りをお楽しみください。
21日(土)	ブナの森 ハイキング	信越トレイル梨平峠	清里まちづくり振興会 ℡025-529-1218	信州との交易に利用された梨平峠道は、ぶなの原生林が美しく、晩秋の木漏れ日の中木の葉で埋まった古道を歩くと至高の満足感が得られます。
29日(日)	菖蒲高原 そばまつり	菖蒲高原ベルハウス (大島区)	菖蒲高原ベルハウス ℡025-594-2030	「これが本当のそばの味」と、そば通もうなずく菖蒲深山そば。石臼で挽いた地元産のそば粉を使用した本格的な手打ちそばが堪能できます。同時に菖蒲高原あやめ池つり大会が開催されます。

11月

開催日	名称	場所	問い合わせ先	内 容
3日(金・祝)	農業祭	ほくほく線 うらがわら駅駐車場	浦川原区総合事務所 ℡025-599-2301	新鮮野菜の直売やオークション、各種イベントなどを行い、実りの秋のひと時を楽しみます。
3日(金・祝)	おらが農業祭	JAえちご上越 大島支店前	えちご上越農業協同組合大島支店 ℡025-594-3346	野菜の即売、餅つき、手づくり屋台で自然の恵みに感謝します。
3日(金・祝)	産業まつり	JAはまなす支店前	柿崎区総合事務所 ℡025-536-6709	地元で採れた秋野菜や新鮮な魚などを安く販売します。収穫感謝祭の各種サービスもあります。
上旬	越後よしかわ 酒まつり	道の駅よしかわ 朴氏の郷周辺	吉川区総合事務所 ℡025-548-2311	朴氏数と酒米「五百万石」の生産量が県内一の吉川ならではの「酒」をテーマにした各種イベント。
上旬	さん農農業まつり	三和体育館周辺	三和区総合事務所 ℡025-532-2323	地元特産品の紹介・販売やもちつき大会など収穫の秋を祝います。
11日(土)	雪太郎大根 いっぺごとまつり	湯の里深山荘(牧区)	宇津保生産組合 ℡025-533-6588	「雪太郎大根」を使った料理が食べ放題のお祭りです。クイズやゲームで景品がもらえるほか、大根のお土産もあります。
11日(土) ・12日(日)	清里そばまつり	山荘京ヶ岳	山荘京ヶ岳 ℡025-528-4100	地元産のそば粉とつなぎに自然薯を使用します。そば通も納得の本格そばです。
19日(日) ・26日(日)	第23回鮭の つかみ取り大会	名立川河口	名立観光協会 ℡025-537-2203	名立川に遡上する大きな鮭をその手でつかんでみませんか。

上越市の施設



上越市の施設を割引で利用できます。利用の際には
会員証を提示してください。 ()内は会員の割引料金です。

施設名	住 所 (上越市内)	電話番号	料金 (一般・個人料金)
リージョンプラザ上越 (アイスアリーナの貸靴料を除く)	下門前 446-2	025-544-2122	レジャープール 400 円 (200 円) アイスアリーナ 800 円 (400 円) インドアスタジアム 100 円 (50 円) 市民プール 300 円 (150 円)
上越科学館	下門前 446-2	025-544-3939	400 円 (200 円)
水族博物館 (サイタルモノレールを含む)	西本町 4-19-27	025-543-2449	900 円 (450 円)
オールシーズンプール	新光町 1-9-1	025-524-3130	300 円 (150 円)
五智公園キャンプ場 (バンガロー使用料)	五智 6 丁目	申込先: 青少年文化センター 543-6030 管理棟 545-9503	1 泊 3,500 円 (1,750 円)
総合博物館 (特別展を除く)	本城町 7-7	025-524-3120	300 円 (150 円)
高田城三重櫓	本城町 6-1	025-526-5915	200 円 (100 円)
日本スキー発祥記念館	大貫 1453-1	025-523-3766	300 円 (150 円)
くるみ家族園	東中島 2487	025-544-7440	浴場 400 円 (200 円) バタールゴルフ 500 円 (250 円)
金谷山スキーリフト・スーパー ボブスレー	大貫 595-2	025-525-4295	リフト 100 円 (50 円) ボブスレー 100 円 (50 円)
海洋フィッシングセンター (えさ 代を除く)	虫生岩戸 719	025-544-2475	使用料 100 円 (50 円) 貸し竿 100 円 (50 円)
交通公園ゴーカート	五智 6-1569	025-543-5948	2 人乗り 200 円 (100 円)
市民いこいの家	石橋 1-1-3	025-545-5270	浴場 250 円 (120 円)
小林公経邸	本城町 7 番 1 号	025-525-2429	200 円 (100 円)
かやぶき美術館	安塚区安塚 804-4	025-592-2048	300 円 (150 円)
安塚歴史民俗資料館	安塚区安塚 609-3	025-592-2209	100 円 (50 円)
蒲川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	蒲川原区古谷島 1217-1	025-599-3810	500 円 (250 円)
牧湯の里深山荘	牧区宇津俣 285	025-533-6785	バタールゴルフ場 1,000 円 (500 円) 釣堀 (1 人 4 時間まで) 500 円 (250 円)
牧歴史民俗資料館	牧区宮口 1483-1	025-533-5117	200 円 (100 円)
柿崎屋内水泳プール (4~11 月)	柿崎区法音寺 392-26	025-536-3758	300 円 (150 円)
鶴の浜人魚館	大潟区九戸浜 241-8	025-534-6211	風呂 500 円 (350 円)、プール 700 円 (400 円)
坂口記念館	頸城区鶴ノ木 148	025-530-3100	200 円 (100 円)
ユートピアくびき希望館	頸城区百間町 716	025-530-2360	400 円 (200 円)
頸城 B & G 海洋センター	頸城区百間町 691-1	025-530-2310	200 円 (100 円)
吉川緑地等利用施設	吉川区尾神 588-1	025-547-2545	400 円 (200 円)
吉川スカイピア遊ランド	吉川区坪野 1458-2	025-547-2221	400 円 (200 円)
中郷ひばり荘	中郷区江口 1003-1	025-574-2401	入浴 600 円 (350 円)
板倉郷土館	板倉区針 842-1	025-578-2325	100 円 (50 円)
清里星のふるさと館	清里区青柳 3436-2	025-528-7227	入館料 300 円 (150 円) プラネタリウム料金 300 円 (150 円)
清里歴史民俗資料館	清里区岡野町 1580	025-528-3111	100 円 (50 円)
三和米と酒の蔵蔵	三和区大 867-1	025-532-4189	300 円 (150 円)
シーサイドパーク名立	名立区名立小泊 798-1	025-537-2121	200 円 (100 円)



新市地区図



編集後記

ここ何日か「テレビ見た?」「見た。みた!!」「あの人誰か知っている?」と言う会話が私の前を通り過ぎます。NHKの「家族に乾杯」の放送についての会話です。たまたま、私の遊び場所だった青田川辺を映していましたし、偶然通りかかった私の母校南本町小学校三年生の一団の中に、後で聞いた話ですが兄の孫がほんのチョットではありますが顔が見えたと大喜びしております。子供の頃、この季節、あの辺には蛍が無数に飛び回っていましたし、釣り人がフナ釣りしていたのを思い出します。遠い思い出になりました。

さて、この会報21号は如何でしょうか。一生懸命やっていますが、なかなか思うような出来映えにはなりません。ご容赦お願いします。少しでも新しい上越を理解して頂く縁となれと思っています。

故郷を離れた私達は小さな情報でも待ち続けています。NHKの放送は、直接関係のない人にも話題を提供してくれました。こんな企画は大賛成です。加えて皆さんの情報を交換致しませんか。お便り下さいませんか。また各種の行事にも是非ご参加下さい。

暑い、あつい夏がやってきます。
皆様お身体を大切にお過ごし下さい。

Jネット運営委員 岡村博己



●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局(上越市企画・地域振興部 企画政策課内)

〒943-8601

新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 FAX.025-526-8363

E-mail: kyoudou@city.joetsu.lg.jp

運営委員会事務局

〒150-0011

東京都渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル

(株)社会システム研究所内

TEL.03-3499-8299 FAX.03-3486-0986

URL <http://www.joetsu.gr.jp/>

【情報をお待ちしています】 TEL.025-526-5111(Jネット事務局)
